

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8				
1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等											
総合的な運営方針、考え方		<p>■安全で快適な利用空間の平等な提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「公の施設」として、誰もが平等に、安心快適に利用できる環境を提供する。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の維持管理、巡視等を計画どおり実施し、安心安全で快適な利用環境の提供を行った。 ・各有料施設においては、県公園条例、利用規則等に基づき運営した。また、園内での商業目的の撮影や制限事項に該当する行為等について説明を行うなど法令等を遵守しながら公平・公正な利用の確保に努めた。 ・災害時の緊急参集訓練、保土ヶ谷消防等と連携した避難訓練を行うなど災害への備えを行った。 		2
		<p>■効果的・効率的な管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケールメリットを活かした、効果的・効率的な管理運営に努める。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社の管理ノウハウを活用し効果的・効率的な管理運営を実施した。 ・作業効率の高い芝刈機等を活用し硬式野球場やサッカー場の管理を行った。 また、計画に基づき天然芝の管理を効果的に行うなど質の維持・向上に取り組んだ。 ・高校野球大会時等の周辺道路の混雑緩和のため駐車場スタッフの増員や警備員の配置を行うなど効果的な管理を行った。 ・安全確保・防災・環境保護の取組として、園内植栽樹木及び公園外周部の民家との隣接部の危険木の処理を行った。 		2
		<p>■より高い公益性の発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域や関係団体と協力しながら、地域社会の発展に寄与する。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体等と連携を図りながら、社会的要請や県の重点施策であるSDGs、ともに生きる社会かながわ憲章、未病の改善、スポーツ・運動機会の拡充、感染拡大防止対策、防災等について取り組み、利用者満足度の向上や地域社会の発展に取り組んだ。 		2
		<p>■地域と「ONE TEAM」となった管理運営による魅力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで築いてきた様々な団体との“絆”を「ONE TEAM」として発展させ、それぞれの立場を尊重しながら、一体となって公園や地域の魅力向上を目指す。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <p>多岐に亘る管理や取組を地域と連携して実施し魅力向上に努めた（以下、主な取組）</p> <p>ボランティアとの園内清掃や花壇管理、福祉施設との身障者目線での施設点検、競技団体との体験教室、地元中学校や地域団体と連携したイベント開催、企業のCSR活動の場として提供 等</p>		2
公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針		<p>スポーツやみどりを通じて、誰もが楽しめる「ヘルシー&インクルーシブ」パークとして、「スポーツ・健康を取り巻く社会環境の変化」などの時代のニーズや課題に対し、4つのミッションにより県民の心身の健康づくりを促進し、豊かな暮らしを実感できるよう、誰もがより気軽に参加・活動・交流できる機会を拡充する。</p> <p>ミッション1 「する・みる・ささえる」でみんな楽しく「スポーツや健康増進」を進める。</p> <p>ミッション2 自然とみどりを守り、育て、活かして、「公園の魅力アップ」を図る。</p> <p>ミッション3 「憩い・交流機会」の充実と「共生社会づくり」への貢献を進める。</p> <p>ミッション4 頻発する災害に対応した「防災機能の強化」を図る。</p>	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <p>次の取組を通じ、県民の心身の健康づくりを促進し、豊かな暮らしを実感できるよう誰もがより気軽に参加・活動・交流できる機会を拡充に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミッション1 サッカー場でのオープンスタジアム、親子を対象とした野球やサッカー教室、インクルーシブスポーツのポッチャ大会、トスベースボール大会等を開催した。市内サッカー場と連携したオリンピックレガシーの展示を行った。 ・ミッション2 ウメの樹木診断や処置を行ったほか、ボランティアや企業のCSR活動と連携した花壇管理等を行った。花壇の魅力向上のため花壇の見直しやボランティア増に取り組んだ。 ・ミッション3 主催事業の梅まつり、みんなのパークフェス、実行委員会の一員として保土ヶ谷区民まつり等を開催。地元の子育て支援団体と連携し未就学児を対象とした親子イベンを開催した。福祉施設と連携した身障者目線での施設点検等を実施した。 ・ミッション4 保土ヶ谷消防や県高野連と連携した硬式野球場での避難訓練、わくわくわんぱくパークと連携したサバイバルクッキング教室等を開催した。 		3	
利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針		<p>■平等な利用の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係法令や利用ルール等を遵守し、公平平等な利用を確保する。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市公園条例等、各種法令を遵守するとともに、公園ホームページにおいて利用者への周知を図った。 ・有料施設においては、県予約システムの活用のほか、大会等については利用調整会議を開催するなど公平平等な利用に取り組んだ。 		6
		<p>■安全安心な利用空間の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の機能や利用目的に応じた適切な維持管理を実施する。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場や園路沿いの基準以上の草刈作業を行った。 ・各ベンチの点検及び園路の不陸整正等、必要に応じた小破修繕を行うなど快適性の向上に取り組んだ。 		6
		<p>■利用者や地域住民等の意見を反映した公園づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園モニターや利用者アンケートの活用、日常的な利用者や地域の声を受け止め、業務改善に反映する。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <p>常設アンケートや利用者満足度調査、日頃の利用者からの要望を、できる限り管理運営に反映するよう取り組んだ。</p>		6
		<p>■競技団体等の声を反映した運動施設の利用調整</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体による「利用調整会議」の開催を通じ、事前準備や綿密な打ち合わせを継続し、よりよい運動施設の管理運営を行う。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <p>利用調整会議を開催するなど公平平等な利用に取り組んだほか、日頃からの要望を、できる限り管理運営に反映するよう取り組んだ。</p>		6
		<p>■環境に配慮した管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した管理運営を行うとともに、環境に対する利用者への普及啓発に取り組むなど、環境負荷の軽減や生物多様性の保全等を推進する。 	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	<p>計画通り実施</p> <p>環境に配慮するため、硬式野球場の避難誘導灯のLED化、利用者への節電やアイドリングストップの呼びかけ、生物多様性の保全のため、池流れ清掃前の生物確保や、SDGsをテーマとした自然観察会を企画した。</p>		6

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容		実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7			
2	業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等 ＜委託予定業務一覧表(様式第3号)による								
3	施設の維持管理								
特性や課題を踏まえた重点的取組	高品質な運動施設の維持・向上	・サカタのタネグループのノウハウを活用した高品質なグラウンド管理を実施 ・オーチャードによるブルの適切な運営管理を実施 ・その他運動施設は、グループ代表の長年の管理ノウハウによる適切な管理を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 各社のノウハウを活かし、各運動施設の高品質な維持管理取り組んだ。特に硬式野球場やサッカー場の利用団体からグラウンドコンディションについて高評価を得た。	10
	四季の花々による美しい癒しの空間づくり	・「四季のプロムナード」の魅力向上のため梅園ウメの活性化、花壇、流れ等の魅力ある花壇管理、サクラ、イチョウ等の適切な管理を実施 ・樹木医による診断に基づいたウメ・サクラの樹勢回復や病虫害の予防措置	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・四季彩のプロムナードの魅力向上のため、サカタのタネグループの指導による花壇管理等を実施した。 ・樹木医や専門家と連携しウメの樹勢回復（土壌改良・防虫害防除）、老木化したサクラの一部更新を行った。	10
	安全・快適な活動・交流の場 生物多様性に配慮した管理	・各運動施設の適切な管理により安全・快適に活動、交流できる場を提供 ・適切な維持管理による施設の長寿命化への取組 ・障がい者目線によるバリアフリー施設等の点検 ・生物多様性に配慮した池流れの管理により環境学習の場として提供 ・新しい生活様式に即したの利用マナーの啓発 ・運動施設の利用日毎の消毒作業を継続実施 ・スコアボードの定期点検、試運転の実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・ラグビー場人工芝のメンテナンス及びテニスコートの一部補修を行うなど、運動施設の適切な管理及び長寿命化に取り組んだ。 ・池流れ清掃時の生物の保護等生物多様性に配慮した管理を行った。 ・地元福祉施設と連携した身障者目線によるバリアフリー施設点検を行った。 ・池流れエリアを環境学習フィールドとして法政大学第二高校に提供した。 ・硬式野球場、サッカー場、ラグビー場のスコアボード点検を適切に実施した。	10
管理運営のプロフェッショナルによる高品質な維持管理	硬式野球場	・常駐グラウンドキーパーによるきめ細かな管理 ・損傷が激しい箇所は回復力の早い芝生へ張替え ・ファウルラインを芝生化し段差解消による怪我防止 ・テレビ中継での「テレビ映え」を意識した芝刈ラインのデザインの工夫 ・こまめな管理による基準書以上の作業回数を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・常駐のグラウンドキーパーによる計画以上の作業の実施及び常にグラウンド状況を把握しきめ細やかな管理を実施した。	10, 11
	サッカー場	・常駐グラウンドキーパーによるきめ細かな管理 ・芝の根長調査を行い、状況を鑑み管理作業に反映 ・市内のサッカー場と管理技術を共有した高品質な利用環境づくり ・こまめな管理による基準書以上の作業回数を実施 ・スコアボードの定期点検、試運転の実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・常駐のグラウンドキーパーによる計画以上の作業の実施及び常にグラウンド状況を把握しきめ細やかな管理を実施した。 ・市内サッカー場との管理技術の共有を図り高品質な利用環境づくりに取り組んだ。 ・スコアボード点検を適切に実施した。	11
	ラグビー場	・定期的なゴムチップの敷き均し、異物等有無の確認 ・シャワーや更衣室を利用日事に消毒 ・スコアボードの定期点検、試運転の実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・定期的なゴムチップの敷均しや場外へのゴムチップの流出防止に取り組んだ。 ・利用日毎の消毒作業に取り組んだ。 ・人工芝のメンテナンスを行うなど長寿命化に取り組んだ。 ・スコアボード点検を適切に実施した。	11
	軟式野球場 少年野球場	・週1回整備日を設け、整地・芝刈を実施 ・打球飛来防止のため木製バット限定使用ルールにて運用（軟式）	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・整備日に整地・芝刈を実施。 ・木製バット限定使用ルールを遵守するよう引き続き利用者に周知徹底を図った。	12
	プール	・有資格者による適切な監視を実施 ・利用状況に応じた適切な水質の管理 ・排水口、取水口の安全設備状況を随時確認 ・更衣室・トイレは1時間毎の巡回、清掃	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・有資格者による遊泳者の適切な監視を実施した。 ・熱中症対策としてミストを設置した。 ・利用状況に応じた水質管理や排水口等の安全設備の随時確認を行った。 ・更衣室やトイレの定期巡回清掃を実施した。	12
	テニスコート	・月1回整備日を設定し、目砂補充やブラッシング等の整備を実施 ・大雨・強風後や落葉時期は適宜清掃を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・整備日における目砂補充やブラッシングを実施したほか、必要に応じ落葉清掃等を実施した。 ・コートの一部補修を行なうなど、安全なプレー環境の維持と長寿命化に取り組んだ。	12
	体育館	・毎週整備日を設定し清掃・点検を実施 ・利用前の点検、利用後のモップかけや定期清掃による利用者の安全確保	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・指定管理者や利用者による利用前後のモップ掛けや専門業者による定期清掃を実施した。 ・整備日の清掃や点検を実施したほか、運動用具（ネット等）を更新し、利用環境の確保に取り組んだ。	12
	適切な点検・小破修繕による施設の長寿命化	・異常箇所の早期発見、予防修繕、応急処置、早期修繕に努める ・県の長寿命化計画を踏まえた点検・診断・措置・記録の実施 ・現地スタッフ以外による様々な視点による施設点検の実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・異常箇所の早期発見、修繕等に取り組み、施設の長寿命化に努めた。 ・グループ代表本部による施設点検を実施した。	12
適切な保守点検・小破修繕の実施による施設の長寿命化	適切な保守点検等の実施	・各運動施設の付帯設備の確実な点検等の実施 ・遊具施設等は日常点検を毎日実施（基準以上） ・自家発電機設備や各消防設備等の点検の実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・各設備、遊具等の保守点検等を適切に実施し、不具合発生の未然防止に取り組んだ。	12
	地元社会福祉協議会と連携したバリアフリー施設の点検	・(福)横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会との連携により、身障者の視点によるバリアフリールート、みんなのトイレ等の調査方法・体制についての調整 ・段差解消、手すり設置等、小規模なものについて速やかな対策	身障者の視点によるバリアフリールート、みんなのトイレ等の点検実施	点検・調査結果に基づいたルート設定、施設改修（小規模なもの）	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元福祉施設と連携し身障者目線によるバリアフリー施設点検を行った。 ・小規模な段差の解消を行った。	13

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
清掃業務、受付業務、警備業務等	安全で快適な利用環境を提供するための清掃	・こまめな日常清掃の実施・確実な定期清掃の実施 ・地域や近隣施設と連携した一斉清掃、合同清掃の実施 ・運動施設（更衣室等）の清掃 ・運動施設トイレは、利用日毎に清掃を実施（基準以上） ・園内トイレは、繁忙期の状況に応じ清掃回数を増（基準以上）	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常清掃及び定期清掃を適切に実施したほか、毎月の一斉清掃をボランティアやアートホール等を行った。 ・運動施設の更衣室やトイレの利用日毎の清掃を行った。 ・園内トイレは基準以上の清掃を実施し、清潔の維持に努めた。		13
	適切な利用受付の実施と円滑な大会運営の支援	・誰もが安全安心に利用できるよう親切・丁寧な対応 ・運動施設の利用についての丁寧なサポート業務 ・利用者に対し「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」の遵守の案内 ・利用者に対し「ヘルスチェックリスト」による体調確認の実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・公平平等の利用に資するため県予約システムの運用や利用調整会議等を適切に開催した。 ・各利用団体と調整を重ね多様な大会運営のサポートを行った。		13. 14
	安全確保と周辺地域に配慮した警備の実施	・日常パトロール、夜間巡回警備による24時間365日の巡視・警備体制を確保 ・大規模イベント時の警備員増員による渋滞対策・安全確保（高校野球以外も必要に応じ誘導員配置→基準以上） ・消防、警察との連携強化、地元自治会の自主的なパトロール協力依頼	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・24時間365日の巡視・警備体制を実施した。 ・混雑想定時に警備員を増員し渋滞対策や安全確保に取り組んだ。 ・消防、警察との連携を確保するとともに、地元自治会による自主パトロールを依頼・実施した。	
樹林地や草地の管理、植物管理業務経緯	四季の花々による美しい癒しの空間づくり 【梅園（ウメ）】	・樹木医による定期的な生育状況のチェック ・計画的な樹勢回復（土壌改良）を実施 ・景観・樹勢・日照改善に配慮した間伐、花芽の位置を目録まで下げる剪定を実施	同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・樹木医等による診断、剪定、土壌改良等の管理を9月、11月、2月、3月に実施した。 ・樹勢回復・病害虫防除のため、専門業者により液体土壌改良剤を土壌に注入したほか有機肥料を散布した。		14. 15
	四季の花々による美しい癒しの空間づくり 【花壇・流れ・園路周辺の花修景】	・サカタのタネオリジナル品種やノウハウを活かした修景 ・休止中の噴水広場での草花による修景の実施検討 ・「池流れ・下池」における“花いかだ”の設置 ・「ハツ橋」周辺のジャガ、シュウメイギク等の植栽 ・専門家と連携したアジサイの名所づくり ・一年草から宿根草へ移行し、修景効果を落とさずにランニングコストを削減 ・開花状況に合わせた適切な管理を実施	同左	・休止中の噴水広場での花修景の展開（予定） 他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・サカタのタネグループの指導に基づく花壇管理の実施や、下池の「花いかだ」をはじめ、サカタのタネオリジナル品種を植栽した。 ・「ハツ橋」周辺に植栽したジャガ、シュウメイギク等の育成管理を継続した。 ・日本アジサイ協会のスタッフの指導に基づく、アジサイの管理を継続した。 ・園内花壇の修景の見直しや、効率的かつ効果的な管理を行うため灌水装置を設置した。		15
	四季の花々による美しい癒しの空間づくり 【サクラ、イチョウの適切な管理】	・樹木医や専門家と連携した樹勢回復 ・台風前後の巡視 ・計画的なイチョウ並木の車道の建築限界値までの剪定（県と連携）	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・樹木医による診断及び枯枝の除去を行った。 ・老木化したサクラを一部更新した。 ・台風前後の巡視点検を行い、被害の未然防止に努めた。 ・園内、市道沿いの支障木の剪定を行った。	
都市部に残された貴重な樹林地の管理	樹林地の高木化、高密度化シンボルツリー「タブノキ」の生育環境の支障ナラ枯れ対策	・定期的な巡視により、枯損木処理、枝下ろしの実施 ・生育状況や隣接住宅等との影響を考慮し、必要に応じた択伐、芯止め、林床の除草等 ・タブノキ周囲の雑木等の除去、タブノキの樹勢の維持・回復 ・「カシノナガキタイムシ」捕獲トラップの設置	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・直営及び委託により定期的な樹木点検を行い、園内・隣接住宅地との境等の危険木等の伐採を行った。 ・タブノキ周囲の雑木の除去を行った。 ・カシノナガキタイムシ捕獲トラップを設置した。		15. 16
安全・快適な活動・交流の場の提供 生物多様性に配慮した管理	県民の憩い・交流の場としての広場等の管理	・利用者の視点に立った芝刈、防犯・害虫対策の実施 ・作業数日前に作業告知看板の設置、作業時の利用者へ協力呼びかけ ・飛び石防止の草刈機使用、作業看板設置、利用者誘導等の安全確保の徹底	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・憩いの場や防犯の視点による管理としてこまめな芝刈等を行った。 ・作業前に作業告知看板を設置するなど、利用者への協力を呼び掛けた。 ・飛び石防止の草刈機使用、利用者誘導等の安全確保を徹底した。		16
	地域活動の場としての維持管理	・ボランティア、保育園、学校、企業のCSR活動、近隣福祉施設等と連携した花壇植栽 ・定期的な園内一斉清掃（かながわアートホール、学校等） ・社会福祉協議会との連携により、身障者の視点によるバリアフリールート、みんなのトイレ等の調査方法・体制についての調整	同左	身障者の視点によるバリアフリールート、みんなのトイレ等の点検実施 他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・花壇ボランティア、企業のCSR活動等と連携した花壇植栽を実施した。 ・毎月の園内一斉清掃を行うほか、地元高校と連携した清掃活動を行った。 ・地元福祉施設と連携し、身障者目録による施設点検を実施した。		16
	水景施設の景観確保と生物多様性にも配慮した管理	・池流れの景観確保 ・水循環システムの定期的な点検・清掃による水質管理 ・上池を自然観察の場とし、生物多様性に配慮した管理を実施 ・上池を地元高校の環境学習フィールドとして提供	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・池流れの景観と生物多様性に配慮した管理に取り組んだ。 ・水循環システムの定期的な点検・清掃による水質管理を行った。 ・池流れエリアを環境学習フィールドとして法政大学第二高校に提供した。	
4 利用促進のための取組										
県民の健康づくりの促進	（公財）横浜スポーツ協会と連携した健康づくり教室の開催による体力向上の機会の提供	・健康体力づくり教室実施調整（主催） ・ウォーキング教室実施調整（主催）	同左	・健康体力づくり教室実施	・ウォーキング教室実施	・健康体力づくり教室実施	・ウォーキング教室実施	計画通り実施 ・梅まつりでの連携として、姿勢・体力測定や健康体操教室を行った。		19
	地域と連携した健康増進プログラムの継続により、スポーツや運動の「する」機会の提供	・かるがもファミリーマラソン（共催） ・ノルディックウォーキング教室実施（共催）	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・かるがもファミリーマラソンの継続のため本公園の関わりを協力から共催に強化したほか、ノルディックウォーキング教室の開催に協力した。		19
	日常のウォーキングの促進による心身の健康増進の場の提供	・3つのウォーキングコース（ファミリー、健脚、インクルーシブ）の設定調整 ・各見どころを巡り、園内の回遊性向上	同左	・3つのウォーキングコースの設定、導入	同左	同左	同左	計画通り実施 ・3つのウォーキングコースを設定し、マップの作成及びHPで公開した。		19
四季折々の自然・みどりを通じた活動の促進	自然観察を通じたSDGsの普及啓発	・「SDGsネイチャーゲームウォークラリー」（主催）を実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・自然あそびでSDGsを開催した。		19
	自然環境や花壇を活用した活動の場の提供	・上池を地元高校に環境学習フィールド提供の調整 ・ボランティア団体「保土ヶ谷公園フラワーメイト」と連携した毎月の花壇管理 ・一般参加者や福祉施設と連携した花壇植栽イベント実施	同左	・上池を地元高校に環境学習フィールド提供の調整 他は同左	・上池を地元高校に環境学習フィールドの提供 他は同左	同左	同左	計画通り実施 ・池流れエリアを環境学習フィールドとして法政大学第二高校に提供した。 ・福祉施設の落ち葉清掃や花壇植栽活動の促進及び支援を行った。		19

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ		
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8					
地域に根差した県立公園としての 機能を発揮	地域連携による大規模イベントの開催	・「梅まつり」(主催)、「キャンドルナイト」(主催)をして 地域団体等の協力を得て継続運営 ・地域連携の拡充・強化		同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地域連携の拡充を図りながら梅まつりを開催した。 ・キャンドルナイトの代替として、アートホールや地域団体と 連携し「みんなのパークフェス」を開催した。		19	
	地域イベントの誘致と開催支援	・「保土ヶ谷区民まつり」の実行委員会の一員として、保土ヶ谷 区をはじめ各団体と連携し開催協力 ・「かるがもファミリーマラソン」(共催)を安全・円滑に実施 できるような開催支援を継続		同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・実行委員会の一員として、保土ヶ谷区民まつりを開催した。 ・かるがもファミリーマラソンを安全・円滑に実施できるよう 開催支援を行った(これまで「協力」であったが令和5年度か ら「共催」)。		19	
	子育て支援の取組充実(子育て世代の公園利用・運動機 会の促進)	・近隣の保育園と連携し親子で参加できる子育て講座、指遊び教 室等の実施調整 ・プレイパーク、七夕飾り等「あそび・体験・学び」プログラムの 継続 ・遠足・校外学習利用を促進		・子育て講座等の実施 他は同左		同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地域団体と連携し子育て支援イベントを開催した。 ・わんぱくパークの開催や管理事務所での利用者参加型の七夕 飾り等を行った。 ・平日の遠足や校外学習利用を積極的に受け入れた。		19
	県の施策「ともに生きる社会かながわ憲章」に連動した 取組の実施 ～障がい者の活動機会の充実～	・自然観察会、花壇植栽ボランティア体験、防災訓練の参加案内 ・カフェやイベント時の生産物販売の場の提供 ・地元福祉施設への園内清掃の委託 ・地元社会協議会と連携しバリアフリー施設の点検による障がい 等との情報交換や活動の場の提供準備 ・ポッチャ大会及び避難訓練の開催 ・福祉施設等の運動会・スポーツ大会等の積極的な受入れ		・地元社会協議会と連携しバリア フリー施設を点検し、障がい等と の情報交換や活動の場を提供 他は同左		同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元社会福祉協議会に各種イベントの広報を行った。 ・生産物についてボランティア等の参加賞として配布した。 ・福祉施設及び園内カフェと連携しワンちゃんクッキーづく りを実施した。 ・地元福祉施設と連携し身障者目線によるバリアフリー施設点 検を行った。 ・ポッチャ大会を開催した。雨天のため避難訓練は中止し公園 の防災機能を説明した。 ・障がい者も参加した硬式野球場でのティーボール大会の受入 れを行った。		20
	防災イベントの開催	・プレイパークと連携し、災害用かまどを活用した「サバイバル クッキング教室」(共催)の実施		同左		同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・わんぱくパークと連携し、災害用かまどを活用したサバイバ ルクッキング教室を開催した。		20
	情報発信拠点、交流拠点としての管理事務所棟、資料展示 館の機能強化 【管理事務所】	◆総合的な情報発信拠点 ・総合受付・案内として、公園の情報・機能・魅力を発信 ・各ミッションの取組を発信 ◆地域におけるコミュニティの場としての利用について、ニーズ 調査の上、県と協議 ・会議室：公園利用団体、ボランティア、自治会、ワーケーショ ン利用 等 ・多目的スペース：一般利用者、子育て世代 等		◆地域におけるコミュニティの場 としての利用 他は同左		同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・総合的な情報発信拠点として、ホームページ、掲示板等によ り、公園情報(施設、開花情報、イベント等)を発信した。 ・地域におけるコミュニティの場として、会議室の貸出しや多 目的スペースの利用を促進した。		20
運動施設の有料利用を促進するた めの取組	情報発信拠点、交流拠点としての管理事務所棟、資料展示 館の機能強化 【資料展示館】	◆専門的な情報発信拠点 ・ギャラリー展示を通じたスポーツ、みどり、文化等発進 ・カフェのメニューに加え、地域産品、福祉施設生産物の販売を 通じた発信(食育・フードドライブ)・ともに生きる社会かながわ憲章 の普及啓発 ・県立保健福祉大学と連携し、カフェにおいて免疫力を高める食 材やレシピを紹介 ◆スポーツ・みどり・文化をテーマとした交流拠点 ・ギャラリー出展者等による講習会の実施 ・近隣学校の部活動の発表の場、来場者との交流の場等		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・ギャラリーにおいてスポーツ・みどり・文化をテーマとした 展示を行った。 ・福祉施設及び園内カフェと連携しワンちゃんクッキーづく りを実施した。 ・カフェにフードドライブの案内チラシを配架した。 ・県立保健福祉大学と連携し作成した、免疫力を高めるレン ジビ、食育の普及啓発チラシをカフェに配架した。 ・ギャラリー出展者と連携し水彩画のワークショップを実施し た。		20	
	競技団体・一般利用者等の公平・平等な利用機会の提供	・公平・平等でより多くの方に利用いただくよう利用調整を実施		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・県予約システムの適切な運用、公正な利用調整会議、選考会 を行うなど、公平平等な利用調整を実施した。		21	
	競技団体・一般利用者等の円滑な利用サポート、混雑時 の地域住民への配慮	・独自の受付マニュアルによる利用者、利用団体への確実かつス ムーズな対応 ・利用団体との綿密な事前調整、利用方法に合わせた準備、当日 の運営サポート ・地域住民に配慮した大会等実施時の渋滞対策の実施		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・独自の受付マニュアルやノウハウにより利用者、利用団体へ の確実かつスムーズな対応を行った。また、キャッシュレス決 済を導入した。 ・大会等の円滑な運営に協力するため、利用団体との事前調整 や運営サポートを行った。 ・日頃から公共交通機関での来園を呼び掛けるとともに、混雑 が予想される大会について警備員を配置するなど渋滞対策を実 施した。		21	
	より多くの有料利用者の利用を促進するための取組	・【硬式野球場】地元BCリーグの練習会場としての利用、企業等 に野球大会の利用の働きかけ ・【サッカー場】芝の状況を踏まえ祝祭日の開場を検討 ・【ラグビー場、軟式・少年野球場】平日半額料金の設定企業等 にスポーツ大会、グラウンドゴルフ大会等の利用の働きかけ		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元BCリーグ、企業、学校、団体等に練習や大会利用の働き かけを行った。 ・サッカー場において平日のオープンスタジアム、祝日に芝生 ふれあいサッカー教室を開催した(いずれも指定管理者事 業)。 ・県との協議のうえ、ラグビー場、軟式・少年野球場の平日半 額料金を設定した。また、グラウンドゴルフ大会利用を働きか け開催した。また、ラグビー場の早朝利用を試行した。		21	
運動施設を有効活用した教室・イ ベント等の実施	プロチーム等と連携したスポーツイベントの主催	・硬式野球場やサッカー場にてプロチームと連携し、親子を対象 としたスポーツ教室等を実施 (野球教室は共催、サッカー教室は主催で実施) (サッカー場での横浜FCと連携した教室は、実施に向けての調 整)		全て実施		同左	同左	同左	計画通り実施 ・硬式野球場にて横浜DeNAベイスターズ、神奈川フューチャ ードリームスと連携した野球教室を開催した。 ・サッカー場にて横浜FCと連携したサッカー教室を開催した。		21	
	プロチーム等と連携したオープンスタジアムの共催	・プロチームやトップアスリートと連携し、硬式野球場、サッ カー場、ラグビー場において、公式試合や練習の観戦機会を提供 する「オープンスタジアム」を継続実施		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 硬式野球場、サッカー場、ラグビー場において、オープンスタ ジアムを実施した。		21	
	各種スポーツ教室、大会の開催	・「ラグビーW杯レガシーフェスタ」(主催) ・体育館で「ほどがやポッチャ大会」(主催)を開催		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・県ラグビーフットボール協会と連携し「ラグビーW杯レガシー フェスタ」を開催した。 ・横浜インクルポッチャラボと連携し「ほどがやポッチャ大 会」を開催した。		22	
	市内サッカー場と連携したオリンピックレガシーの継承 イベントの開催	・市内の「ニッパツ三ツ沢球技場」、「日産フィールド小机球技 場」と連携し、「オリンピックレガシーイベント(仮称)」とし てサッカー教室(主催)の実施調整		・市内の「三ツ沢球技場」、「小 机球技場」と連携した「オリ ンピックレガシー」をテーマとした 展示		同左	同左	同左	計画通り実施 「ニッパツ三ツ沢球技場」、「日産フィールド小机」、「日産 スタジアム」と連携し、オリンピックレガシーの展示を行っ た。		22	
	競技団体・学校等の活動支援、交流機会の提供	・地元ボランティアと連携した「ママさんバレーボール大会」 (主催)開催 ・地元高校主催の「サッカーフェスティバル」(共催)等の活動 支援 ・新たな利用ニーズに応じた柔軟な運営		同左		同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元ボランティアと連携した「ママさんバレーボール大会」 を開催した。 ・地元高校主催の「サッカーフェスティバル」の開催を支援し た。		22	

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
	運動施設の多目的な利用機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・【硬式野球場】ナイターヨガ教室実施（主催） ・【サッカー場】芝生ヨガ教室（主催）、芝生管理教室実施（主催） ・【ラグビー場】救命救急講習会実施（主催） ・【プール】地元保育園と連携した「ヤゴ救出大作戦」実施（主催） ・【体育館】「保土ヶ谷ポッチャ大会」参加者・公園スタッフでの自主避難訓練（主催） 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元インストラクターと連携し硬式野球場にてナイターヨガ教室を開催した。 ・芝生ヨガ教室及び芝生ふれあいサッカー教室を開催した。 ・プール開場前に地元保育園と連携したヤゴ救出大作戦を実施した。 ・ヨコハマインクルポッチャラボと連携し「ほどがやポッチャ大会」を開催した。		22
	有料駐車場の運営の取組	繁忙期やイベント開催時における駐車場対応	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場管理基準を定め、管理許可を得て駐車場運営を行う。 ・渋滞予想日には公共交通機関での来園をHP等により周知/必要に応じ、交通誘導員を配置、道路交通情報センターへの情報提供、市営バスへの増便依頼を実施 ・運動広場を臨時駐車場として活用 ・HP・SNSによる駐車場の混雑状況をリアルタイムに発信 ・駐車場入口周辺での駐車場待ちをさせない誘導の徹底 	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県の管理許可を得て駐車場運営を行った。 ・渋滞対策として、公共交通機関での来園の周知、交通誘導員の配置、臨時駐車場として運動広場を活用した。また、SNSによる駐車場の混雑状況をリアルタイムに発信した。		23
	多様なキャッシュレス決済への対応や、環境配慮の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・交通系ICカードによるキャッシュレス決済や高額紙幣に対応した精算機設置の継続 ・多様なキャッシュレス決済の導入を検討 ・アイドリングストップを依頼する掲示物等の設置 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・交通系ICカードや高額紙幣に対応した精算機設置を継続した。 ・キャッシュレス決済の導入を行った。 ・アイドリングストップを依頼する案内をHPや掲示物により行った。		23
自動販売機の運営の取組	利用者ニーズを考慮した販売品目	<ul style="list-style-type: none"> ・【飲料、アイス】幅広い世代から好まれる品目、運動利用者向けの栄養補給、熱中症予防飲料等を導入 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		23
	設置する自販機の機能等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に、飲料を無償提供する災害支援ベンダーの設置 ・車いすでも購入しやすいバリアフリー対応機種の設置 ・キャッシュレス対応の機種を設置 ・防犯カメラや警報機等の防犯システムの設置、転倒防止の対策 ・ゴミ箱は細かな分別が可能なりサイクル対応を設置 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		23
広報・PR活動	メディアや広域のネットワークを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミ：tvk、FM横浜、神奈川新聞社等 ・情報誌：YOKOHAMA Walker、ぴあ等 ・県内施設：高校野球各予選会場、スポーツ施設（三ツ沢球技場等）等 ・県の媒体：県広報紙「県のたより」、かながわNOW、PLANETかながわ 等 ・交通広告：JR保土ヶ谷駅、相鉄星川駅 等 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・情報発信の内容、対象に合わせた媒体や施設等を選択しPR活動を行った。 ・イベント参加募集においては応募状況により媒体や広報エリアを追加する等対応した。		24
	独自の広報ツールや所属団体を活かした情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNSによるイベント、花、ギャラリー等の最新情報の発信 ・グループ代表の公園情報誌「パークナビ」（年2回配架） ・首都圏みどりのネットワーク所属団体との連携による公園情報の発信 ・イベントチラシ、ポスターの園内、グループ代表の管理公園等への配架 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・情報発信の内容、対象に合わせた媒体や施設等を選択しPR活動を行った。		24
	地域のネットワークを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用団体HP、市内の類似運動施設：試合予定や見どころ等を相互HPでPR ・横浜ケーブルテレビ：多数のイベント情報を提供 ・タウンニュース：保土ヶ谷版にイベント情報やみどころ情報を提供 ・横浜市広報紙：「広報よこはま」への掲載依頼 ・回覧板、掲示板：地域自治体の媒体を活用した情報周知 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・情報発信の内容、対象に合わせた媒体や施設等を選択しPR活動を行った。		24
	イベント等でのPR	<ul style="list-style-type: none"> ・県立公園を対象としたフォトコンテストの開催（毎年）、オリジナルカレンダーの販売 ・フォーラム等の外部イベントでの発表、展示 ・グループ代表マスコットキャラクター「コーちゃん&エンちゃん」の活用 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県立公園を対象としたフォトコンテスト及びギャラリーにおいて入賞作品展を開催した。オリジナルカレンダーを販売した。 ・梅まつりの参加賞においてコーちゃん&エンちゃんのグッズを配布した。		24
	ホームページ、SNSを活用した情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・HPは神奈川県ウェブアクセシビリティ方針に準拠し、多言語化（英語、中国語、韓国語）へ対応準備 ・SNSは公園の基本情報のほか、変わった情報発信による新たな層への情報発信 ・硬式野球場のスコアボード操作講習を動画配信でも併用 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの神奈川県ウェブアクセシビリティ方針に準拠した多言語化対応 	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・HPの多言語化（英語、中国語、韓国語）に対応した。 ・SNSにおいて基本情報のほか、梅まつり時の緑の相談内容の発信した。 ・スコアボード操作講習のマニュアルを再整備した。ホームページにて施設紹介動画を配信した。		24
	利用者層や利用目的に応じたPR	<ul style="list-style-type: none"> ・市内運動施設、地元スポーツセンター、スポーツ用品店へのチラシ配架 ・サカタのタネグループのメールマガジン等への掲載 ・「かながわアートホール」との相互連携によるPR ・地元企業・幼稚園・保育園へのPR ・横浜市教育委員会所管の「学校ポスト」の活用 ・保土ヶ谷区社会福祉協議会を通じた各福祉施設等へのPR ・地元外国人向け情報誌「横浜シーサイダー」への掲載 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・情報発信の内容、対象に合わせた媒体や施設等を選択しPR活動を行った。		24
	公園利用者数の目標値	平成29年度～令和元年度平均との比較	令和8年度までに ・公園利用者数：846千人（7%増）を目標 ・有料施設利用者数：505千人（5%増）を目標	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・公園利用者数804千人 ・有料施設利用者数403千人 左記目標値は令和8年度までの目標値	
会議室の貸出し	地域の自治会・文化サークル、公園利用の促進に資する団体等の活動の場として提供	<ul style="list-style-type: none"> ・地域におけるコミュニティづくり及び地域文化の振興に資するために利用する地域自治会 ・文化サークル及び公園利用の促進に資する団体 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地域をはじめ、多目的に利用できる活動に使用することができる会議室として、HPにおいて案内を行った。		

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
5 自主事業の内容等										
売店・レストランの運営	常設のカフェレストランの運営	・資料展示館内の「ギャラリーカフェ」の運営を継続 ・シーラボ（保健福祉大学）と連携し食育の普及啓発を図るチラシ配架 ・健康意識の高まりに対応した、基礎免疫力を高める食材やレシピの紹介 ・地元福祉施設と連携した生産物の販売 ・フードドライブの普及啓発活動の実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ギャラリーカフェの運営を継続した。 ・シーラボと連携し作成した、食育の普及啓発や免疫力を高めるレシピのチラシを配架した。 ・福祉施設及びカフェと連携しワンちゃんクッキーづくり体験を行い、クッキーをカフェ利用者に配布した。 ・フードドライブの案内チラシを配架した。		25
	臨時売店の運営	【硬式野球場内売店】 テイクアウトでの観戦を考慮した商品提供 【プール施設内売店】 子どもの需要やお小遣い事情を考慮した商品提供	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・出店場所の利用者層（硬式野球場、プール）に応じた商品提供を行った。		25
	ケータリングサービスの実施	【噴水広場前・梅園・ピクニック広場他】 高校野球開催時やウメ・サクラ等の開花時期にテイクアウトでの観戦、お花見・ピクニック等の利便性を向上するため、利用者層を考慮した商品提供を検討・調整・県の許可申請等の準備	ケータリングサービス導入	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・高校野球大会時、プール営業時、イベント開催時（梅まつり・パークフェス等）に飲食提供を行った。 ・上記について、利用者層を踏まえ多様な商品を提供した。		25. 26
	実施体制 (委託業者への協力依頼)	・大規模災害が発生時は、店舗内の飲食物を無償で提供し、店舗スタッフも災害対応に協力 ・イベント開催等の出店協力 ・店内でのリユース容器等の使用、テイクアウト時の紙製容器等の使用を推奨 ・会計時のキャッシュレス化の導入検討	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・大規模災害発生時の災害対応への協力について委託業者者に確認した。 ・梅まつりの模擬店として出店協力をした。 ・環境配慮やキャッシュレス化については、可能な範囲での協力を依頼した（カフェはキャッシュレス決済を導入）。		26
	実施体制 (委託業者の指導・監督)	・食品衛生責任者の配置、所管保健所の営業許可、消防署への届出等、法令遵守 ・店舗の安全衛生管理、接遇の向上 ・新型コロナウイルス対策の実施 ・営業報告等、委託契約の履行	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・各種法令の遵守、安全衛生管理の徹底、感染防止対策、委託契約の履行を委託業者に指導し履行した。		26
	オートテニスの運営	直営でのオートテニス（2台）の運営	・テニスコート待ち時間の有効利用、ファミリーや初心者体験の場として設置 ・日々の料金回収や清掃、日常点検や雨天後のコート整備を実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・オートテニス2台の設置を継続し、利用者の体験の場として活用するため適切な管理を行った。	
管理事務所での物販	・「花とみどりのフォトコンテスト」入賞作品によるカレンダーを公園管理事務所にて販売	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・フォトコンテスト入賞作品によるカレンダーを販売した。		26
公園協会の独自資産（SDGs 積立資産）を活用した取組	・花壇管理のための花苗購入の一部 ・配架用点字パンフレットの作成、サイン（簡易掲示）用のビクトグラム作成 ・防災用食料及び衛星電話等、防災備蓄品の購入	・各取組を実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・防災用食料及び防災備蓄品の購入		
6 利用料金の設定・減免の考え方										
利用料金の設定	運動施設	・県条例の利用料金上限額を設定 ・県都市公園施設利用規則に定める供用日・時間に基づく運営 ・ラグビー場、軟式野球場、少年野球場は平日料金（半額）の設定を提案	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県条例や利用規則に基づく運営を行った。 ・県との協議のうえ、ラグビー場、軟式野球場、少年野球場の平日半額料金を設定した。		27
利用料金の設定	駐車場・自動販売機	・類似施設や近隣施設の料金を考慮し、公の施設として相応の料金を設定	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県との協議のうえ実施した。		27
減免の考え方	運動施設	・全額免除、5割免除の適用について県の承認を得て実施運営	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県との協議のうえ実施した。		27
減免の考え方	駐車場・自動販売機	・保土ヶ谷公園駐車場管理基準に基づき減免を県の承認を得て実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県との協議のうえ実施した。		27
7 利用者対応・サービス向上の取組										
基本的な考え方	グループが各々培ってきた接客や利用者対応のノウハウを融合し、利用者対応の向上を図る	「おもてなし五箇条」を実践	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・朝礼等での情報共有や挨拶唱和において再認識し対応した。		28
接客や利用者との対話の具体的な取組	「保土ヶ谷公園データブック」の活用、おもてなしバッグの携帯等	・データブックの活用 ・おもてなしバッグの携帯 ・窓口、電話、メールでの適切な対応 ・情報の共有による利用者サービスの向上 ・「誰もが円滑に利用するための工夫」によるユニバーサルなサービスの提供	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・接遇マニュアル等を改めて共有するなど、適切な利用者対応及び利用者サービスの向上に努めた。		28
公園利用ルールの利用者への助言、指導等	利用ルールの策定	・利用マナーの向上 ・施設の適正な利用方法 ・受動喫煙に関するルール ・園内の自然環境の保全 ・新型コロナウイルス対策	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・園内掲示やホームページで案内するとともに、必要に応じ注意喚起を行った。		29
マニュアルの整備や研修によるスキルの向上	接遇マニュアルの整備 研修の実施	・接遇研修、日常の接遇チェック ・運動施設の応対研修 ・植物の知識に関する研修 ・ロールプレイング研修 ・ユニバーサル研修	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・朝礼時や全体会議時に実施した。		29
利用者ニーズ・苦情の把握と事業等への反映	ニーズ・苦情の把握、分析、改善、利用者満足度向上・新規利用者獲得	・利用者満足度調査、イベント参加者アンケート等の実施 ・公園モニターの公募 ・データベースソフトを用いた事例蓄積	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・利用者満足度調査等を適切に実施した。 ・公園モニターを引き続き公募した。本公園を対象とした調査が1件行われた。		30

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8			
誰もが円滑に利用するための工夫、支援	外国人利用者への対応	・かながわ国際交流財団と連携した外国人モニター依頼先への頻度、モニター内容の調整 ・管理事務所内にフリーWiFiを導入・JIS規格に準じたビクトグラムによる案内を設置 ・英語コミュニケーションボードの設置 ・QRコードを用いて、HP、パンフレット、園内看板等の多言語化 ・「やさしい日本語」を用いた各種案内を導入等	・外国人モニターの運用 他は同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・三ツ池公園が行った鶴見国際交流ラウンジとの外国人対応についてのヒアリング結果を参考に、トイレの使用方法等の表示の見直しを検討した(令和6年度対応予定)。 ・利用者向けのフリーWiFiを設置した。管理事務所や園内にJIS規格に準じたビクトグラムを設置した。 ・英語コミュニケーションボードを設置した。 ・ホームページの多言語化(日・英・中・韓)を行った。 ・総合案内看板に多言語化対応の当公園ホームページのQRコードを表示した。 ・やさしい日本語を用いた案内に取り組んだ。		31
	障がい者への対応(物理的配慮への対応)	・車いすの貸出、バリアフリーマップの提供 ・園内への車両乗り入れ対応 ・身体障がい者向けサービスの周知 ・車いす利用者の目線を意識した展示の作成	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・物理的配慮に適切に対応した。		31
	障がい者への対応(意思疎通の対応)	・点字の案内看板、パンフレットの導入 ・読み上げ機能に配慮したホームページの運用 ・神奈川県「色使いのガイドライン」に則った園内掲示物や配布物の作成 ・手話講習会受講職員による対応/コミュニケーションボードの設置/筆談対応等 ・「ほじろマーク」の表示、知的障がい者等に対する丁寧な対応等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・適切に実施し、特に障害者理解促進研修を受講した。		32
	高齢者への対応	・車いすの貸出 ・老眼鏡、ルーペの貸出 ・認知症サポーター養成講座を受講した職員による対応	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・必要に応じた貸出や高齢者に配慮した対応を行った。		32
	子育て世代への対応	・管理事務所内多目的スペースの一部に設置した授乳室、おむつ交換台の継続、子ども用便座貸出、踏み台の設置	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・必要に応じた利用案内を行った。		32
手話言語条例への対応	職員への教育、手話の普及啓発	・手話講習会の開催、反復練習の実施 ・コミュニケーションツール設置 ・多目的スペースに基本的な手話の掲示	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・朝礼時等に手話の反復練習を行った。 ・コミュニケーションボード、アングルボードを設置した。 ・多目的スペースに基本的な手話ポスターを掲示した。		32
8 日常の事故防止、緊急時の対応										
事故防止の体制	スケールメリットを活かした組織的な体制強化、地域の関係機関と連携した体制強化	・緊急時における人員・資材の応援 ・事故不祥事防止会議、定例主任会議等の実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		33
具体的な事故防止	施設別の安全対策	・毎日異なる職員等による日常点検を行い慣れとし見落としを防ぐ ・グループ代表の公園管理運営士を有する職員による施設点検を行い、共有し、改善策を講じ実行する。	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		34
	施設ごとの安全管理のための具体策	【運動施設】 ・利用前にグラウンド内等の石や異物、段差等点検 ・整備日を設定し、段差不陸の解消、砂、チップ敷設	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		34
		【プール】 ・プールの救急救助等に関する有資格者の配置 ・スタッフは営業前及び営業中毎日、救助訓練実施 ・昼夜巡回し安全管理、水質等の衛生管理実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		34
		【遊具】 ・毎日、週1回、年1回各点検を実施 ・異常発見時は利用を即中止し専門業者に修理依頼	同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	
日常作業の安全確保	来園者に対する安全確保 作業員の安全確保 ルールの徹底のための抜き打ち検査	【来園者】作業時間の配慮、作業エリアの確保、周知、農業使用の軽減等 【作業員】作業前、作業中、作業後の事故防止の取組 【検査】抜き打ち検査の実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		34. 35
	具体的な防犯対策	・パトロール強化による園内の見通し確保 ・園路灯の点灯チェック、トイレ周辺の死角除去	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		35
防犯対策	地域と一体となった防犯対策	・公園の活性化による防犯 ・自治体、警察や学校等と連携した防犯体制確立 ・子ども110番の家登録と運用	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		35
	防火対策	消防法に基づく対応、マナーやルールの周知徹底	・消防計画の作成と運用 ・園内掲示等による禁煙エリア周知、喫煙マナーの啓発、火気使用禁止ルール周知徹底 ・定期的な消防設備点検、電気製品・周辺環境の整備	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	35
安全管理マニュアル等の整備	マニュアル整備による職員の認識共有とチェック体制の構築	・各マニュアルの策定と運用 ・保土ヶ谷公園安全管理マニュアル ・施設点検パトロール実施要領 ・園内巡視マップ、危険箇所マップ ・遊具点検チェックリスト ・プール管理マニュアル ・各施設点検操作マニュアル	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		36
安全管理を確実に実行するための研修等	安全衛生推進者の配置、各研修の実施	・新規採用者研修 ・定期的な研修 ・安全講習等、必要に応じた研修	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		36
樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害の未然防止	日々の巡視、状況に応じた安全対策 台風シーズン前後の点検、応急措置、早期対策等	・日常の点検と対応 ・「外周点検パトロール」による集中的な点検と対応	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・特に、急傾斜地は専門業者による定期点検を実施した。		36. 37
事故・不祥事等の対応	利用者の安全確保	・迅速な初期対応 ・二次災害の防止等 ・県・グループ代表への報告・協議	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		37
事故後の対応	情報連絡・事故対応	・県への報告、報告書の提出 ・原因の究明、再発防止の検討等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		37
安全管理の妨げとなりうる事案への対応	情報連絡・事故対応	・犯罪予告、脅迫や不当な要求、不審者や不審情報への対応	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		37

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8				
	外国人、障がい者、高齢者が含まれていた場合の対応	対象者に合わせた対応、多言語ややさしい日本語の活用	・歩行や情報伝達困難者等への対応 ・やさしい日本語の活用と多言語表示 ・災害時多言語情報作成ツールの活用 ・避難の補助、教護スペースの確保 ・車椅子けん引補助装置の導入	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		38	
	不祥事を認知した際の対応	不祥事防止策の徹底、発生時の迅速かつ誠実な対応、再発防止策	・各種規定やガイドランの遵守 ・拡大防止と状況把握、早期な対応策の実施 ・原因究明や対策の検討等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		38	
9	急病人及び新型コロナウイルス等への対応										
	急病人が生じた場合の具体的な対応	傷病の事象に合わせた対応、近隣医療機関の情報把握と提供	・転倒、蜂刺され等に応じた迅速な対応 ・熱中症、海岸での事故 ・近隣医療機関の情報把握と提供	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		39	
	救命に関する職員研修と備え	救命講習の受講 防災訓練等におけるAED取扱い訓練の実施 AEDの確実な配備	・普通救命講習、上級救命講習の受講 ・幼児安全法支援員の受講 ・防災訓練等、AED取扱いの訓練 ・管理事務所、各運動施設内へのAEDの配備	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		39	
	新型コロナウイルス感染症まん延防止のための取組	日常利用における感染防止対策	・利用者へ感染防止対策の協力依頼 ・維持管理上での感染防止対策実施 ※県の実施方針等に合わせ、取組を見直ししながら実施（以下のコロナ対策も同様）	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		40	
		感染防止を徹底するための各施設の管理	・利用者への協力を促す ・維持管理の徹底 ・利用制限、自粛等の呼びかけ	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		40. 41	
		イベント時の対応	・参加者への検温、体調確認 ・マスク着用、こまめな手洗い消毒の呼びかけ等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		41	
		職員の感染防止対策	・感染防止の体制構築 ・各種感染防止対策、健康状態の確認、働き方の工夫等	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		42	
		利用者の感染が判明した場合の対応	・県・グループ代表へ速やかな報告、消毒、保健所等への調査協力	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		42	
	コロナ禍における災害時対応	・受入時の感染症対策 ・県市の要請に応じてた避難者受け入れ ・感染症対策用品の備蓄	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		42	
10	災害への対応（事前、発生時）										
	台風の接近、大雨洪水に関する対応	的確な情報収集 タイムラインに沿った対応 体制の整備 停電時の電力確保	・保土ヶ谷公園安全管理マニュアルに基づく対応 ・気象庁や横浜市等からの情報収集 ・大雨の状況に応じたパトロール、注意喚起、避難所等との情報共有 ・時点毎の県への報告 ・県の指示に応じた時間外体制の構築 ・電気自動車の配備、発動機等の活用	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		43. 44	
	ゲリラ豪雨や雷等への対応	情報収集と利用者への注意喚起	・園内放送による注意喚起	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		44	
	熱中症警戒アラートへの対応	情報収集 事前準備 利用者への注意喚起等	・官庁HPや自治体メールマガジン等で情報収集 ・暑さ指数（WBGT）の確認 ・熱中症急急セットの配備 ・運動施設利用者へ注意喚起、園内放送での呼びかけ ・熱中症予防のための有料施設ペナルティ対象外の対応	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		44	
	その他異常気象災害への対応	光化学オキシダント緊急時措置の発令時対応	・近隣で光化学スモッグ注意報発令時は園内放送にて注意喚起	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		44	
	震度4以上の地震発生時	配備体制、初動体制	・パトロール体制の確立と運用 ・園内パトロール、負傷者の応急措置等 ・県への報告	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		45	
	震度5以上の地震発生時	配備体制、時間外の参集体制	・配備体制の確立と運用 ・緊急参集訓練の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		45	
	初動時～緊急時～復旧・復興時の対応	タイムラインに合わせた対応	・「保土ヶ谷公園の震災時対応の考え方」「災害対策活動指針」に基づく対応 ・衛星電話、IP電話の導入と運用 ・迅速な園内の状況把握 ・感染症対策を講じた滞留者の受入れ ・避難スペース等の清掃管理	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		45～47	
	災害に備えた事前対策	災害情報の受発信 災害対策マップの活用と更新	・スマホ向けアプリケーションや市防災メール等の活用した災害情報の受発信 ・災害対策マップの作成、掲示、更新	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		47	
		震災時利用施設の維持管理 防災訓練・職員教育	・リストによる各施設の日常点検、備品類の日常点検 ・シエイクアウトアラスワン、緊急参集訓練の実施 ・安全管理研修、消防訓練の実施等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		47. 48
	本公園の特性、立地条件等に応じた対応	具体的な対応	・外周部の巡視、園内建物、構造物類の点検 ・急傾斜地は定期的な経過観察	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 特に、急傾斜地は専門業者による定期点検を実施した。		49	
		地域との連携	・利用者や近隣施設と協働で各種防災訓練の実施 ・市、地元消防、地域消防団、高野連等との意見交換、合同防災訓練、必要に応じマニュアルの見直し（消防等との訓練の実施調整） ・各種防災イベントの等の実施 ・公園の災害時対応について情報周知、普及	地元消防・地域消防団等との合同防災訓練実施 他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施		49	
		災害対策物品の備蓄	・水、災害用トイレ、電気自動車・電源取り出し装置、衛星電話、IP無線機、トランシーバー、燃料、上履きヘルメット等の適切な管理	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		50
		災害発生時の協力等	・災害復旧への協力（機器、物品、救援活動支援） ・避難所（帰宅困難者滞留）となった場合の新型コロナウイルス感染症対策	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		50
		災害発生時の対応及び業務継続計画（BCP）	・BCP（事業継続計画）の運用、必要に応じた見直し ・災害時の事業継続に特に必要となる人的バックアップ	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		50

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8				
11	地域と連携した魅力ある施設づくり										
	スポーツ・健康を通じた連携・協力体制	プロチーム、トップアスリートとの連携強化	・野球：神奈川フューチャードリームスとの連携（共催） ・サッカー：日体大FIELDS横浜との連携継続、横浜FCとの連携調整（主催） ・ラグビー：地元を活動拠点としている元日本代表選手等との連携（主催） ・ポッチャ：地元を活動拠点としている選手や公式審判員との連携（主催）	他は同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・横浜DeNAベイスターズ、神奈川フューチャードリームスと連携した子ども教室を開催した。 ・日体大FIELDS横浜と連携したオープンスタジアムを開催、横浜FCとのサッカー教室を開催した。 ・県内の実業団と連携し、みんなのパークフェスにおいてラグビー体験を実施した。 ・ヨコハマインクルポッチャラボと連携したポッチャ大会を開催した。		51
		各団体との連携・交流機会の強化	・ラグビーW杯レガシーフェスタ実施（指定管理者が主催） ・ほどがやポッチャ大会実施（指定管理者が主催）	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ラグビー協会と連携したラグビーW杯レガシーフェスタを実施した。 ・ヨコハマインクルポッチャラボと連携したポッチャ大会を開催した。		51
	（公財）横浜市スポーツ協会との連携・協力体制	日常の健康づくり促進 オリンピックサッカーの継承 グラウンド管理技術向上	・健康体力づくり教室、ウォーキング教室実施調整 ・3場連携プログラムとしてサッカー教室を開催 ・3場相互の会場視察、メーリングリストによる連絡体制構築	・3場と連携したオリンピックレガシーに関する展示 ・健康体力づくり教室実施 他は同左	・ウォーキング教室実施 他は同左	・健康体力づくり教室実施 他は同左	・ウォーキング教室実施 他は同左	計画通り実施 ・姿勢・体力測定・体操教室を実施した ・オリンピックレガシー企画展を開催した。 ・3場の管理者間で管理手法等の情報共有を行った。		51	
	自治会との連携・協力体制	周辺自治会との連携	・園内避難訓練への参加 ・日常的な園内パトロールの実施協力 ・自治会掲示板での公園情報の発信 ・自治会主催の盆踊り等の場の提供	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・園内避難訓練への参加協力を依頼した。 ・日常的な園内パトロールを実施した。 ・自治会掲示板で公園情報を発信した。 ・自治会主催行事の場の提供を行った。		51	
	企業のCSR活動を通じた連携・協力体制	スポーツを通じた連携・協力	・横浜FCと連携したサッカー教室の実施調整	実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・横浜FCと連携したサッカー教室を開催した。		52
		花壇管理、美化活動を通じた連携・協力	・花壇植栽、清掃等各活動に合わせた支援 ・HPにおいて活動実績等を周知	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・花壇・清掃ボランティアの活動支援を行った。 ・NTT東日本、清水建設と連携した植栽活動を実施し、HPにおいて活動状況等を発信した。		52
	学校等との連携・協力体制	学校等の活動支援にかかる連携	・芝生教室において日本芝草学会と連携 ・日本大学（生物資源科学部）の発表の場を提供 ・学校行事、部活動の発表の場としてギャラリー等における活動支援 ・池流れにおける生物多様性に関する調査研究活動支援の実施調整 ・小学校等の環境学習の場の提供・指導の継続 等	・生物多様性に関する調査研究活動支援の調整 他は同左	・生物多様性に関する調査研究活動支援の実施 他は同左	同左	同左	計画通り実施 ・芝生ふれあいサッカー教室において日本芝草学会校庭芝生部会や日本大学と連携し天然芝の管理手法等について普及啓発を行った。 ・法政二高の生物調査への協力、近隣保育園を対象としたプールのヤゴ救出大作戦を実施した。		52	
		本公園の取組への協力連携	・梅まつり、キャンドルナイト、サッカー教室、芝生管理教室等のイベント運営協力 ・園内一斉清掃への協力 ・食育に関する普及啓発。カフェにおける食育や免疫力を高める食材・レシピ等のチラシをカフェに配架等、食を通じた「未病の改善」の取組	・梅まつり、サッカー教室、芝生管理教室、公園まつり（仮称）等のイベント運営協力 他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・梅まつり、芝生ふれあいサッカー教室等のイベント運営に協力していただいた。 ・保健福祉大学と連携し作成した食育や免疫力を高めるレシピのチラシをカフェや管理事務所に配架した。		52	
	地域の人材・団体等との連携・協力体制	地域の大規模イベントにおける連携	・「梅まつり」「キャンドルナイト」等の「地域密着イベント」を既存の協力団体等と企画段階からの調整 ・新たな協力団体等との関係構築、さらなる連携の拡充・強化	・「梅まつり」等の「地域密着イベント」を既存の協力団体等と企画段階からの調整 他は同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・みんなのパークフェスの企画・運営を行った。 ・みんなのパークフェス、梅まつりのステージ出演、模擬店の出店において新たな協力団体等と関係構築に取り組んだ。		52
		地域で活動する人材・団体等の活動支援・連携の継続	・各人材・団体等との連携強化	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地域で活動する人材・団体との連携を継続し、イベント等について関係性を確保した。		53
（福）横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会との連携		・地元社会協議会と連携しバリアフリー施設の点検による障がい等との情報交換や活動の場の提供準備 ・障がいの者のイベント参加促進のため広報の連携	・地元社会協議会と連携しバリアフリー施設を点検し、障がい等との情報交換や活動の場の提供 他は同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元社会福祉協議会と連携し身障者目線によるバリアフリー点検を行うなど、活動の場の提供準備を行った。 ・障がいの者のイベント参加促進のため地元社会福祉協議会を通じてみんなのパークフェスや梅まつり等の広報を行った。		53	
地元スポーツ用品店との連携強化		・ニュースポーツ等の多様なスポーツに触れる機会の提供を目的に、「トスペースボール大会」を共催により開催	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元スポーツ用品店と、トスペースボール大会やノルディックウォーキングの開催連携を行い、多様なスポーツに触れる機会を提供した。		53	
防災における連携・協力体制	行政機関等と連携した防災機能の向上	・県、県防災協力業者：県震災対策訓練への協力・参加 ・横浜市、保土ヶ谷区、地元自治体等と合同の訓練 ・近隣住民と広域避難場所等として各種防災訓練への協力・参加 ・保土ヶ谷消防署：自衛消防訓練、防災訓練、救命救急講習の実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県震災対策訓練に参加した。 ・高校野球大会時を想定した消防・高野連等との訓練を実施した。 ・保土ヶ谷消防署の自衛消防訓練等に協力した。		53	
	地域や利用団体等と連携した防災意識の向上	・（一財）神奈川県高等学校野球連盟等：防災訓練 ・保土ヶ谷わくわくプレイパーク：防災イベント ・かながわアートホール：避難訓練等への相互参加 ・パラスポーツ競技団体：運動施設利用時の避難訓練 ・県ラグビー協会：救命救急講習	同左	同左	同左	同左	同左	一部実施 ・高校野球大会時を想定し、消防・高野連等と連携した避難訓練を実施した。 ・かながわアートホールと連携し、アートホールの自主避難訓練、硬式野球場での避難訓練の相互参加を行った。 ・パラスポーツ競技団体との避難訓練は雨天のため内容を変更し公園の防災機能について説明した。 ・保土ヶ谷消防・ラグビー協会と連携した救命救急講習会を計画していたが、能登半島地震の影響により中止した。		53	
	保土ヶ谷警察署（花見台交番）との連携	・必要に応じ園内パトロールや渋滞時の対応、大規模イベント時やプール期間中のパトロール協力等の連携	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・大規模大会やプール開場前にパトロール協力を依頼した。		53	
ボランティア団体等の育成・連携、協働	維持管理ボランティア	・フラワーメイトの活動支援 ・地域団体、個人ボランティアの活動支援、協力	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・フラワーメイトの登録者増と毎月の活動支援を行った。 ・園内清掃等におけるボランティア活動の支援を行った。		54	
	利用促進ボランティア	・保土ヶ谷わくわくプレイパーク ・スポーツイベントボランティア ・スポーツ・みどりボランティア ・土友会、公緑会、公募イベントボランティア等との協働・支援	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・各団体等と連携し、わんぱくパーク、ママさんバレーボール大会、芝生ふれあいサッカー教室、梅まつりを開催した。		54	
	地元ボランティアセンターと連携したボランティアの育成	・活動プログラムとして、低木刈込等の実技研修を行い、地域ボランティアの育成を図る	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・保土ヶ谷区社会福祉協議会と連携し刈込等の研修を実施した。		54	

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容			実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ	
区分	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8				
	周辺施設（他の公園、施設等）との交流・連携	県内、市内の他スポーツ施設等との連携	・市内主要サッカー場と連携したオリンピックレガシーとしてのサッカー教室実施調整 ・県内競技場や高校野球予選会場等と連携した大会情報の発信 ・保土ヶ谷スポーツセンター、地元スポーツ用品店、JR保土ヶ谷駅との広報連携	・オリンピックレガシーとしての展示実施 他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・市スポーツ協会と連携しオリンピックレガシー展示を行った。 ・大会情報やイベント情報について、県内競技場、地元スポーツ用品店、星川駅等と広報連携を行った。		54	
		かながわアートホールとの連携強化	・公園主催の「園内一斉清掃」への参加 ・梅まつり開催時における「アートホール」と「梅園」での吹奏楽演奏の同日開催 ・アートホールが園内で実施する「野外コンサート」への開催協力 ・アートホール「展示コーナー」と公園「ギャラリーCOEN」での相互展示の調整 ・公園とアートホールがそれぞれで実施する避難訓練への相互参加	・アートホール「展示コーナー」と公園「ギャラリーCOEN」での相互展示実施 他は同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・毎月の園内一斉清掃に参加した。 ・アートホールや地域団体と連携しみんなのパークフェスを開催した。 ・年10回開催された野外コンサートの開催協力を行った。 ・アートホールにて協会のフォトコンテストを展示した。 ・それぞれが実施する避難訓練に相互参加を図った。		54.55	
		他の都市公園等との連携	・県立都市公園、県立ビジターセンターからの資料調達、講師派遣等 ・全国、首都圏等の公園管理団体との連携・情報交換 ・「県立都市公園指定管理者連絡協議会」での連携	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・利用促進担当者研修において、他の県立都市公園、県立ビジターセンターとの情報交換を行った。また、各公園等が持ち回りでフォトコンテスト作品展を開催した。本公園ギャラリーでビジターセンター主催の企画展を開催した。 ・全国、首都圏等の公園管理団体との連携・情報交換を実施した。 ・「県立都市公園指定管理者連絡協議会」での連携を実施した。		55	
	地域企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供	市内事業者、県内事業者、中小企業、NPO等との連携	・地元を優先する地域要件を設定し、委託業者を選定（法定点検については専門業者へ委託） ・地域経済への貢献や地域連携の視点に立ち、県内企業等へ委託	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・委託にあたっては地元業者を優先して発注した。		55
		社会福祉法人等との連携	・可能な限り市内の障がい者就労支援施設等に発注 ・上記の調達目標額指定管理期間中に342,000円/年 ・バリアフリー施設・設備の点検を協働実施調整 ・障がい者のイベント参加促進のため広報の連携	・バリアフリー施設・設備の点検を協働実施 他は同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・市内の障がい者就労支援施設等への発注を推進し、930千円/年を発注した。 ・バリアフリー視点による点検を実施した。 ・障がい者のイベント参加促進のため地元社会福祉協議会を通じた広報を実施した。		55
12	管理経費の節減等										
	収支計画書	—	別紙参照	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 (収入合計/支出合計の比率は101.9%)		
13	人的な能力、執行体制										
	現地職員の配置計画	現地責任者・主要職員の適切な配置 専門知識や有資格者の適切な配置	・計画に示す経歴等での人員配置 ・計画に示す有資格者（資格、人数）の配置	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		56.57
	人材の育成	研修の受講、資格取得の推進	・人材育成の考え方に基づく実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		59
	職員の採用	公募による人材確保 公園管理運営方針を理解した確かな対応ができる人材（常勤職員） 即戦力となる人材（公園管理主任等） 地元人材の活用（パートタイム職員）	・適正な採用の実施	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		60
	働きやすい労働環境の確保	ワークライフバランスの確保 ハラスメント対策等の実施	・各取組の実施による労働環境の確保	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		60.61
14	コンプライアンス、社会貢献										
	法規や労働関係法規の遵守	施設設備、労働関係、文書管理等の諸規程に基づく法令遵守の徹底	・諸規定の整備と運用	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		64.65
	環境負荷軽減の4つの目標達成への取組	低炭素社会への貢献	・再エネ電力の積極的活用 ・樹林地の管理、事務所の省エネ等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・当協会「環境マネジメントシステム」に基づき実施した。		65
		生物多様性保全	・草地、樹林地、水辺等に配慮した管理 ・希少種保護、外来種駆除等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・池流れ清掃前に生物を保護するなど生物多様性に配慮した管理を実施した。		65
		循環型社会への貢献	・発生材の園内活用、ゴミの削減 ・グリーン購入促進等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・発生材を薪にし梅まつり時に活用するなど、ゴミの削減に努めた。 ・グリーン購入促進等に努めた。		65
		普及啓発の促進	・観察会、市民団体の活動連携、職員研修等	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・SDGsをテーマとした観察会の開催、プールのヤゴ救出作戦の実施、ボランティアとの連携、全体会議時の共有を図った。		65
	環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムによる継続性の確保	・システムの運用	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		66
	環境マネジメントシステムの本公園での具体的な取組	環境負荷軽減	・発生材のチップ化 ・グラウンド整備用のトンボ再利用 ・野球場ナイター利用者に対し照明1/2や1/3点灯推奨	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・発生材を薪にし梅まつり時に活用した。 ・劣化した整備用トンボを補修し再利用した。 ・硬式野球場ナイター利用者に照明の1/2や1/3点灯を推奨した。		66
		自然環境保全への配慮、環境教育	・イベント「ヤゴ救出作戦」「水辺の生き物観察会」等の実施 ・企業CSR活動と連携した花壇づくりの実施 ・地元中学校の職場体験時に本公園のSDGsの取組について説明	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・「ヤゴ救出作戦」、「自然あそびでSDGs」を開催した。 ・NTT東日本、清水建設のCSR活動と連携した花壇づくりを行った。 ・法政二高の生物調査時や桜丘高校の清掃活動時に本公園のSDGsの取組について説明した。		66

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

区分	事業計画書の内容		実施計画					令和5年度の実施状況	備考	事業計画書 該当ページ							
	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を 分かり易く簡潔にまとめて記入)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8										
公園	障害者雇用の促進	障害者の直接雇用と障害者就労施設等への積極的な業務発注	<ul style="list-style-type: none"> 法定雇用率を上回る雇用努力の実施 植物管理の一部を地元社会福祉法人に委託 障がい者を雇用する企業が生産した花苗の公園への植栽や地域緑化団体への配布 次期指定管理期間における調達目標：指定管理期間中に342,000円/年 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・法定雇用率を上回る雇用努力を行った。未達成のグループ企業は今後の達成に向け取り組む。 ・清掃管理の一部を地元福祉施設に委託した。 ・障がい者雇用企業が生産した花苗を園内花壇に植栽した。 ・障害者就労施設等への調達実績：930千円		66.67						
	ともに生きる社会かながわ憲章の趣旨を踏まえ取組	職員研修		<ul style="list-style-type: none"> 障害者理解促進研修の実施 日常の運営管理に即した職場内研修を実施 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・障害者理解促進研修資料に基づく内部研修を実施したほか、社会福祉協議会と連携した身障者目線による施設点検結果を通じて障害者理解を促進した。		67					
		合理的配慮の提供の取組		<ul style="list-style-type: none"> 車いすの貸出 車いす利用者の目線を意識した展示作成 バリアフリーマップの作成・配布、ピクトグラムの設置 「耳マーク」の掲示による聴覚障がいの方へ配慮 コミュニケーションボード等の設置 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・車いすの貸出（管理事務所、硬式野球場、体育館）を行った。 ・車いす利用者の目線を意識した掲示を行った。 ・バリアフリーマップの活用を図った。 ・管理事務所に耳マークの掲示及びコミュニケーションボードを設置した。		68					
		イベント等への参加促進		<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しめるポッチャ大会、自然観察会の実施 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・イベント等について地元社会福祉協議会を通じて参加を促進した。また、福祉施設の活動促進としてカフェにて「わんちゃんクッキーづくり」体験を行った。		68					
		公園利用者等への普及啓発		<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある方への適切な配慮について普及啓発 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・管理事務所入口に「障害者差別解消法」のチラシを掲示するなど普及啓発に取り組んだ。		68					
	手話言語条例への対応	普及体制、職員への教育、利用環境の向上		<ul style="list-style-type: none"> 体制づくりと運用 研修の実施 手話講習を受講した職員による窓口案内 コミュニケーションツールの設置等 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・手話の反復練習の実施、コミュニケーションボード・アングルボードの設置、点字パンフレットの作成等、受入体制の整備を進めた。		68					
	社会貢献活動等、CSR	グループ代表による社会貢献活動の実施		<ul style="list-style-type: none"> 【公園協会】：公園管理事業や公益事業を通じた取組の実施 市内の幼稚園等への野菜の栽培管理・指導等を通じた食育の普及啓発 企業のCSR活動の支援 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・協会の食育事業は取止めになったため、シーラボと作成した食育の普及啓発チラシを近隣保育園に配布した。 ・本公園において企業のCSR活動の支援として、花壇の植栽を共同で行った。		69					
	SDGsへの取組	本公園での具体的な取組の実施 <目標9>		<ul style="list-style-type: none"> 横浜市等が主催する防災訓練等への協力・参加 横浜市消防・県高野連と連携した防災訓練の実施 防災備蓄品の点検・更新、電気自動車の配備 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・横浜市消防・県高野連と連携した高校野球大会時を想定した避難訓練を実施した。 ・緊急参集訓練の実施と防災備蓄品の点検、電気自動車の配備を継続した。		70					
		本公園での具体的な取組の実施 <目標11>		<ul style="list-style-type: none"> インクルーシブの視点での自然観察会、花壇植栽体験 ポッチャ大会等の開催 健康体力づくり教室の開催、ウーイングコースの設定 親子を対象としたイベントの充実 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・イベント等について地元福祉施設を通じて広報を行った。 ・障がい者も参加した「ティール大会」の開催支援を行った。 ・梅まつりにおいて姿勢・体力測定、体操教室を実施。ウォーキングマップを作成し公表した。 ・子どもや親子を対象とした野球教室やサッカー教室等を開催した。		70					
		本公園での具体的な取組の実施 <目標15>		<ul style="list-style-type: none"> 外周植栽の適正な維持管理による生態系の保全 池流れにおける生物多様性に配慮した管理 地元高校の活動の場として提供 自然観察会の開催 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・外周植栽の適正な維持管理により生態系の保全に努めた。 ・池流れ清掃時の生物保護等生物多様性に配慮した管理を行った。 ・地元高校と連携した清掃活動時に園内の自然保護の普及啓発を行った。 ・自然観察会「自然あそびでSDGs」、地元保育園と連携した「プールのヤゴ救出作戦」を開催した。		70					
		本公園での具体的な取組の実施 <SDGsの普及啓発>		<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会「SDGsネイチャーゲームウォークラリー」の実施 地元中学校の職場体験等における普及啓発 本公園の取組について、ホームページでの発信 	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・自然観察会「自然あそびでSDGs」、地元保育園と連携した「プールのヤゴ救出作戦」を開催した。 ・地元高校と連携した清掃活動時に自然保護の普及啓発を行った。 ・企業のCSR活動と連携した植栽活動等をホームページで発信したほか、フードドライブや食育に関するチラシを配架した。		70					
	15 事故・不祥事への対応、個人情報保護	個人情報保護のための方針・体制		<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護のための組織体制の構築 個人情報保護のための諸規程の整備 					同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		72	
		職員に対する教育・研修体制	各研修、会議の開催による個人情報保護の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 新規職員研修の実施 実務担当者研修の実施 所属長会議及び事故・不祥事防止会議の実施 必要に応じて外部研修を受講 					同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		73
		個人情報の取扱い	厳格な取扱いの徹底 個人情報の漏えいが発生した場合の対応 電子データの取扱いに関するセキュリティ強化 ソーシャルメディア利用での対応 情報公開への対応	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報等の情報管理に関するチェックリスト等に基づき、鍵付き書庫等での厳重な管理、シュレッダー等による確実な廃棄等、厳格な管理 個人情報漏えいが発生した場合、速やかな報告と防止措置 ウイルス感染や不正アクセス等に備えた「対応マニュアル」や体制整備による電子データの取扱いに関するセキュリティ強化 「ソーシャルメディアの利用に関するガイドライン」に基づく個人情報の適切な取扱い 「情報公開規程」の定めによる情報公開申出への対応 					同左	同左	同左	同左	同左	同左	計画通り実施		73